

# 社会科（地理） 調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 新編新しい社会地理  7 2 5
取扱内容	<p>○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界の地域構成」において、宇宙から撮影した地球の写真を見て大陸と海洋の分布から世界の地域構成を大観したり、世界の主な国の形や大きさ、国境の決まり方から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動</li> <li>・「世界各地の人々の生活と環境」において、世界各地の住居の特色に着目して人々の生活の様子を考察したり、人々のくらしの変化や宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動</li> <li>・「世界の諸地域」において、世界の6つの州ごとに地形や気候、人口分布等から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、アジア州では、「急速に進む成長と変化」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動</li> <li>・「日本の地域構成」において、地図を活用して、日本と世界との時差や都道府県と県庁所在地の名称を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動</li> <li>・「世界と比べた日本の地域的特色」において、日本の自然災害の状況や防災、減災等の取組を取り上げたり、世界的視野から日本の資源・エネルギーの消費の現状や産業の特色を理解したりする活動</li> <li>・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分し、九州地方を環境問題や環境保全の視点から、中国・四国地方を人口や都市・村落の視点から取り上げるなど、それぞれの地域的特色を概観し、テーマを絞って考察する活動</li> </ul> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、章末や節末に、学習したことを文章でまとめたり、説明したりする活動を位置付けるなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>
内容の 排列、 構成 ・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、「世界の様々な地域の調査」において、調査結果の考察をまとめ、発表する学習の後に、「身近な地域の調査」において、身に付けたまとめ方を活用するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「世界の様々な地域」は122ページ、「日本の様々な地域」は155ページであり、総ページ数は295ページで、前回より約12%増となっている。</p>
使用上の 配慮等	<p>○ 生徒の学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道の特色ある自然や人々のくらし等、「自然環境を中核とした考察」から北海道を取り上げている。</li> <li>・アイヌ語が由来となったとされる地名やアイヌの人たちの歴史・文化の継承の取組を考察する資料を掲載している。</li> </ul> <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地理スキル・アップ」で、資料等を読み取る活動を工夫している。</li> <li>・「えんぴつマーク」で、学習を深めるための作業や活動を工夫している。</li> </ul> <p>○ マークやコーナーについて説明するページを設けたり、巻末に用語解説や世界の主な農産物の写真を掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

# 社会科（地理） 調査研究報告書

書名 観点	教育出版 中学社会地理 地域にまなぶ  7 2 6
取扱内容	<p>○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界の地域構成」において、地球儀や世界地図を活用して大陸と海洋のおよその位置から世界の地域構成を大観したり、世界の主な国の国名や国旗の成り立ちから世界の国や地域についての関心を高めたりする活動</li> <li>・「世界各地の人々の生活と環境」において、世界各地の自然環境の違いや衣食住に着目して人々の生活の様子を考察したり、民族や言語、宗教等の社会的条件とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動</li> <li>・「世界の諸地域」において、世界の6つの州ごとに地勢や気候、民族、州境の分布図等から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、州ごとに主題を設けて地理的特色を理解したりする活動</li> <li>・「日本の地域構成」において、地図を活用して日本と世界との時差や都道府県の名称と位置を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動</li> <li>・「世界と比べた日本の地域的特色」において、日本の地形や気候と関連する自然災害と防災への取組を取り上げたり、世界的視野から資源やエネルギーに関する課題や国内の産業の特色を理解したりする活動</li> <li>・「日本の諸地域」において、日本を3つの地方に区分し、九州地方を環境問題や環境保全の視点から、中国・四国地方を人口や都市・村落の視点から取り上げるなど、それぞれの地域的特色を概観し、テーマを絞って考察する活動</li> </ul> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、章末に、学習したことを比較し関連付けてまとめたり、説明したりする活動を位置付けるなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>
内容の 排列、 構成 ・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、「世界の様々な地域の調査」において、調査結果をまとめ、発表する学習の後に、「身近な地域の調査」において、身に付けたまとめ方を活用するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「世界の様々な地域」は114ページ、「日本の様々な地域」は141ページであり、総ページ数は279ページで、前回と同様となっている。（B5判からA B判に変更）</p>
使用上の 配慮等	<p>○ 生徒の学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道の自然環境を生かしたくらしや農業の特色等、「自然環境を中核とした考察」から北海道を取り上げている。</li> <li>・アイヌ語に由来する主な地名やアイヌの人たちの歴史・文化の継承の取組を考察する資料を掲載している。</li> </ul> <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地理にアプローチ」で、地図等の見方を身に付ける活動を工夫している。</li> <li>・「読み解こう」で、資料を読み取り、考えを深める活動を工夫している。</li> </ul> <p>○ 教科書の見方や使い方について説明するページを設けたり、巻末に用語解説や世界の家畜の写真の掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

# 社会科（地理） 調査研究報告書

書名 観点	帝国書院 社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土  727
取 扱 内 容	<p>○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界の地域構成」において、地球規模の大陸と海洋の大まかな形状と位置関係から世界の地域構成を大観したり、世界の主な国の国名や国旗の由来から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動</li> <li>・「世界各地の人々の生活と環境」において、世界各地の気候帯や衣食住に着目して人々の生活の様子を考察したり、宗教や生活、自然環境とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動</li> <li>・「世界の諸地域」において、世界の6つの州ごとに自然や気候、人口分布等から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、アジア州では、「巨大な人口と急速な経済発展」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動</li> <li>・「日本の地域構成」において、地図を活用して、日本と世界との時差や日本の都道府県と地域区分を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動</li> <li>・「世界と比べた日本の地域的特色」において、日本の地形や気候と関連する自然災害や防災、減災の取組を取り上げたり、世界的視野から世界や国内の人口分布、地域間の結び付きの特色を理解したりする活動</li> <li>・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分し、九州地方を自然環境の視点から、中国・四国地方を他地域との結び付きの視点から取り上げるなど、それぞれの地域的特色を概観し、テーマを絞って考察する活動</li> </ul> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、節末に、学習したことを図や文章でまとめたり、説明したりする活動を位置付けるなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>
内容の 排列、 構成 ・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、「世界の様々な地域の調査」において、調査結果をレポートにまとめ、発表する学習の後に、「身近な地域の調査」において、身に付けたまとめ方を活用するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「世界の様々な地域」は118ページ、「日本の様々な地域」は157ページであり、総ページ数は280ページで、前回と同様となっている。（B5判からA B判に変更）</p>
使用上の 配慮等	<p>○ 生徒の学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道の開拓の歴史や自然環境の克服等、「歴史的背景を中核とした考察」から北海道を取り上げている。</li> <li>・アイヌ語に起源をもつ北海道の地名や伝統的なアイヌ文様の刺繍がほどこされた衣服の写真に掲載している。</li> </ul> <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「技能をみがく」で写真やグラフ等の見方を身に付ける活動を工夫している。</li> <li>・「やってみよう」で、学習したことを活用する活動を工夫している。</li> </ul> <p>○ 教科書に載っているマークやコーナーについて説明するページを設けたり、巻末に世界の家畜の写真に掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

## 社会科（地理）調査研究報告書

書名 観点	日本文教出版 中学社会 地理的分野  728
取扱内容	<p>○ 地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界の地域構成」において、宇宙から撮影した地球の4つの写真を見て大陸と海洋の分布から世界の地域構成を大観したり、世界の主な国の国名や国旗、国境から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動</li> <li>・「世界各地の人々の生活と環境」において、世界各地の自然的条件や衣食住に着目して人々の生活の様子を考察したり、人々の暮らしと産業や宗教等とのかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動</li> <li>・「世界の諸地域」において、世界の6つの州ごとに主な国の地形や首都、気候区分等から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、州ごとに主題を設けて地理的特色を理解したりする活動</li> <li>・「日本の地域構成」において、地図を活用して日本と世界との時差や都道府県と県庁所在地の名称を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真で位置を示すなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動</li> <li>・「世界と比べた日本の地域的特色」において、震災からの復興にかかわる防災や減災の取組を取り上げたり、世界的視野から世界と日本の産業や地域間の結び付きの特色を理解したりする活動</li> <li>・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分し、九州地方を環境問題や環境保全の視点から、中国・四国地方を人口や都市・村落の視点から取り上げるなど、それぞれの地域の特色を概観し、テーマを絞って考察する活動</li> </ul> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、章末や節末に、学習したことを文章でまとめたり、説明したりする活動を位置付けるなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>
内容の 排列、 構成 ・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、「世界の様々な地域の調査」において、調査結果をまとめ、発表する学習の後に、「身近な地域の調査」において、身に付けたまとめ方を活用するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「世界の様々な地域」は112ページ、「日本の様々な地域」は156ページであり、総ページ数は281ページで、前回より約8%減となっている。（B5判からA B判に変更）</p>
使用上の 配慮等	<p>○ 生徒の学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道の自然環境を生かしたくらしや観光等、「自然環境を中核とした考察」から北海道を取り上げている。</li> <li>・アイヌ語に由来する主な地名やアイヌ民族の工芸品を展示している展覧会の写真を掲載している。</li> </ul> <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「スキルUP」で、資料の活用の仕方を身に付ける活動を工夫している。</li> <li>・「トライ」で、学習した内容を深める活動を工夫している。</li> </ul> <p>○ 教科書の構成と使い方について説明するページを設けたり、巻末に日本の世界遺産の写真を掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	